

Hitachi Storage Adapter

– Hitachi Block Storage Driver for OpenStack –
サポートマトリクス

リビジョン:	09-00
発行日:	2022/4/26
発行元:	(株)日立製作所

変更履歴

リリース	変更日付	変更内容
01-00	2015/11/13	新規作成
02-00	2016/10/31	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Libertyの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 8 SUSE OpenStack Cloud 6 コンシステンシーグループ機能に対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform F-series (VSP F400, F600, F800)に対応しました。
03-00	2016/10/31	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Mitakaの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 9 カスケードTT(クローン、スナップショット)機能の各操作に対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform G1500, F1500に対応しました。
04-00	2018/7/12	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Pikeの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 12 Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900, F350, F370, F700, F900に対応しました。 前提ストレージ管理ソフトウェアを、RAID ManagerからConfiguration Manager REST APIに変更しました。 Volume Migration (storage assisted)機能に対応しました。 Dedupe and compression機能に対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform G1000, G1500, F1500のiSCSIをサポートしました。
05-00	2018/12/20	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Queensの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 13 Port scheduler機能をサポートしました。 Thin Image ペア と snapshot データの保存を Dynamic Provisioning ブールでサポートしました。 SIMPLE REST APIをサポートしました。 (VSP G350, G370, G700, G900, VSP F350, F370, F700, F900 のみ) ホストグループ/SCSIターゲット作成時のホストモードオプション指定をサポートしました。 ボリューム複製機能で異なるサイズのボリューム複製をサポートしました。
06-00	2019/11/1	<p>v3.2.1のエンハンス</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900, F350, F370, F700, F900に対応しました。 OpenStack Newtonの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 10 RAID Managerに代わりConfiguration Manager REST API をサポートしました。 ストレージシステムの再起動後にボリューム削除、およびコピーが失敗する問題を修正しました。 <p>v7.0.0のエンハンス</p> <ul style="list-style-type: none"> OpenStack Queensの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 14 global-active device (GAD)機能をサポートしました。 <p>v6.3.0のエンハンス</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Virtual Storage Platform 5100, 5500, 5100H, 5500Hに対応しました。 global-active device (GAD)機能をサポートしました。 Volume Replication機能をテクノロジーレビューとして対応しました。
07-00	2020/8/24	<p>v6.3.0のエンハンス</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Virtual Storage Platform E990に対応しました。
08-00	2021/4/22	<p>v9.0.0のエンハンス</p> <ul style="list-style-type: none"> OpenStack Trainの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 16.1 Hitachi Virtual Storage Platform E590, E790に対応しました。 Configuring Quality of Service (QoS)機能をサポートしました。 global-active device (GAD)構成のRevert-to-snapshotをサポートしました。 global-active device (GAD)構成のGVGをサポートしました。
09-00	2022/4/26	<p>v6.3.0のエンハンス</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Virtual Storage Platform E590, E790に対応しました。 <p>v9.0.0のエンハンス</p> <ul style="list-style-type: none"> サポートしているHitachi Virtual Storage Platform E590, E790のマイクロコードバージョンを修正しました。 <p>v9.0.1のエンハンス</p> <ul style="list-style-type: none"> Hitachi Virtual Storage Platform E390, E390H, E590H, E790Hに対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform 5200, 5200H, 5600, 5600Hに対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform E1090, E1090Hに対応しました。 ボリュームを複製する際に、複製先のボリュームにdeduplication and compression設定が反映されない問題を修正しました。

はじめに

サポートマトリクスに記載の情報は、主要な構成を示したものです。本資料に掲載の内容には販売終了製品も掲載されており、サーバ接続に必要なソフトウェアなどの販売終了により、構成を組むことが出来ない場合もございます。

事前に構成をご確認いただけますようお願い申し上げます。

<<他者所有名称に対する表示>>

- IntelおよびIntel Xeonは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hatは、米国およびその他の国でRed Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。
- SUSEは、米国およびその他の国におけるSUSE LLCの登録商標または商標です。
- OpenStack®の文字表記とOpenStackのロゴは、米国とその他の国におけるOpenStack Foundationの登録商標/サービスマークまたは商標/サービスマークのいずれかであり、OpenStack Foundationの許諾を得て使用しています。日立製作所は、OpenStack FoundationやOpenStackコミュニティの関連企業ではなく、また支援や出資を受けていません。

目次

1. 本製品	-----	5
1.1 製品バージョン	-----	5
1.2 機能一覧	-----	6
2. 関連ストレージ	-----	7
2.1 ストレージ製品	-----	7
2.2 ストレージ P.P.	-----	8
3. 関連ソフトウェア	-----	9
3.1 プラットフォーム	-----	9
3.2 前提ストレージ管理ソフトウェア	-----	10

1 本製品

1.1 製品バージョン

バージョン	リリース時期	機能
v01.4.0	2015/11	OpenStack環境で日立ストレージの操作機能(LU作成/削除、LUコピー、ホストグループへのマッピングなど)を提供します。
v01.5.3	2016/10	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Libertyの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 8 SUSE OpenStack Cloud 6 コンシステンシーグループ機能に対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform F-series (VSP F400, F600, F800)に対応しました。
v02.1.0	2016/10	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Mitakaの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 9 カスケードTI(クローン、スナップショット)機能の各操作に対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform G1500, F1500に対応しました。
v05.1.0	2018/7/12	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Pikeの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 12 Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900, F350, F370, F700, F900に対応しました。 前提ストレージ管理ソフトウェアを、RAID ManagerからConfiguration Manager REST APIに変更しました。 Volume Migration (storage assisted)機能に対応しました。 Dedupe and compression機能に対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform G1000, G1500, F1500のiSCSIをサポートしました。
v06.1.0	2018/12/20	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Queensの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 13 Port scheduler機能をサポートしました。 Thin Image ペア とsnapshot データの保存を Dynamic Provisioning プールでサポートしました。 SIMPLE REST APIをサポートしました。 (VSP G350, G370, G700, G900, VSP F350, F370, F700, F900 のみ) ホストグループ/iSCSIターゲット作成時のホストモードオプション指定をサポートしました。 ボリューム複製機能で異なるサイズのボリューム複製をサポートしました。
v03.2.1	2019/11/1	<ul style="list-style-type: none"> Hitachi Virtual Storage Platform G130, G150, G350, G370, G700, G900, F350, F370, F700, F900に対応しました。 OpenStack Newtonの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 10 RAID Managerに代わりConfiguration Manager REST API をサポートしました。 ストレージシステムの再起動後にボリューム削除、およびコピーが失敗する問題を修正しました。
v07.0.0	2019/11/1	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Queensの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 14 global-active device (GAD)機能をサポートしました。
v06.3.0	2019/11/1	<ul style="list-style-type: none"> Hitachi Virtual Storage Platform 5100, 5500, 5100H, 5500Hに対応しました。 global-active device (GAD)機能をサポートしました。 Volume Replication機能をテクノロジーレビューとして対応しました。
v06.3.0	2020/8/24	Hitachi Virtual Storage Platform E990に対応しました。
v09.0.0	2021/4/22	<ul style="list-style-type: none"> OpenStack Trainの以下ディストリビューションに対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 16.1 Hitachi Virtual Storage Platform E590, E790に対応しました。 Configuring Quality of Service (QoS)機能をサポートしました。 global-active device (GAD)構成のRevert-to-snapshotをサポートしました。 global-active device (GAD)構成のGVGをサポートしました。
v06.3.0	2022/4/26	Hitachi Virtual Storage Platform E590, E790に対応しました。
v09.0.0	2022/4/26	サポートしているHitachi Virtual Storage Platform E590, E790のマイクロコードバージョンを修正しました。
v09.0.1	2022/4/26	<ul style="list-style-type: none"> Hitachi Virtual Storage Platform E390, E390H, E590H, E790Hに対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform 5200, 5200H, 5600, 5600Hに対応しました。 Hitachi Virtual Storage Platform E1090, E1090Hに対応しました。 ボリュームを複製する際に、複製先のボリュームにdeduplication and compression設定が反映されない問題を修正しました。

1.2 機能一覧

詳細な機能内容については、ユーザースタンドバイドを参照してください。

【表記】○: サポート ×: 未サポート

#	Classification	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1	Create Volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	Delete volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	Attach Volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	Detach Volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	Extend volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	Create Snapshot	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	Delete Snapshot	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	List Snapshots	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	Create Volumes from Snapshot	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	Create Volume from Image	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	Create Volume from Volume (Clone)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	Create Image from Volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	Volume Migration (host assisted)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	Volume Migration (storage assisted)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
15	Get Volume Status	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	Backup Volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	Restore Backup	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	Manage Volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	Unmanage Volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	Retype Volume	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	Create Consistency Group	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
22	Delete Consistency Group	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
23	Create Consistency Group from Source Consistency	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
24	Create Consistency Group from Snapshot	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
25	Create Snapshot for Consistency Group	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
26	Delete Snapshot of Consistency Group	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
27	Update Consistency Group	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
28	Oversubscription	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
29	Multi-attach support	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
30	Volume Replication	○*1	○*1	×	○*1	×	×	×	×	×	×
31	Quality of Service (QoS)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

*1 Technology Preview

2 関連ストレージ製品

2.1 ストレージ製品

【表記】○:サポート ×:未サポート

2.1.1 ストレージ製品	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1 HUS VM	×	×	×	×	×	×	×	73-03-09以降	73-03-09以降	73-03-09以降
2 VSP	×	×	×	×	×	×	×	70-06-00以降	70-06-00以降	70-06-00以降
3 VSP G1000	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-02-4x以降	80-02-4x以降	80-02-4x以降
4 VSP G100,G200,G400,G600	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-01-2x以降	83-01-2x以降	83-01-2x以降
5 VSP G800	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-01-2x以降	83-01-2x以降	83-01-2x以降
6 HUS100 Family	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0977/J以降
7 VSP F400,F600,F800	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-04-43以降	83-01-2x以降	83-01-2x以降	×
8 VSP G1500, F1500	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-43以降	80-05-0x以降	×	×
9 VSP G130,G150,G350,G370,G700,G900	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	×	×	×
10 VSP F350,F370,F700,F900	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	88-01-04以降	×	×	×
11 VSP 5100, 5500, 5100H, 5500H	90-01-42以降	90-01-42以降	×	90-01-42以降	×	×	×	×	×	×
12 VSP E990	93-01-01以降	93-01-01以降	×	93-01-01以降	×	×	×	×	×	×
13 VSP E590,E790	93-03-22以降	93-03-22以降	×	93-03-22以降	×	×	×	×	×	×
14 VSP E390,E390H	93-05-21以降	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15 VSP E590H,E790H	93-05-02以降	×	×	×	×	×	×	×	×	×
16 VSP 5200,5600,5200H,5600H	90-08-01以降	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17 VSP E1090,E1090H	93-06-21以降	×	×	×	×	×	×	×	×	×

2.1.2 ストレージ接続

2.1.2 ストレージ接続		v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1 HUS VM	FC	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
2	FCoE	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
3 VSP	FC	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
4	FCoE	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
5 VSP G1000	FC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	FCoE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	iSCSI	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
8 VSP G100, G200, G400, G600	FC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	iSCSI	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10 VSP G800	FC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	iSCSI	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12 HUS100 Family	FC	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
13	iSCSI	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
14 VSP F400,F600, F800	FC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
15	iSCSI	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
16 VSP G1500, F1500	FC	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
17	FCoE	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
18	iSCSI	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
19 VSP G130,G150,G350, G370,G700,G900	FC	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
20	iSCSI	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
21 VSP F350,F370, F700,F900	FC	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
22	iSCSI	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
23 VSP 5100, 5500, 5100H, 5500H	FC	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
24	iSCSI	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
25 VSP E990	FC	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
26	iSCSI	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
27 VSP E590,E790	FC	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
28	iSCSI	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
29 VSP E390,E390H	FC	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
30	iSCSI	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
31 VSP E590H,E790H	FC	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
32	iSCSI	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
33 VSP 5200, 5600, 5200H, 5600H	FC	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
34	iSCSI	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
35 VSP E1090,E1090H	FC	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
36	iSCSI	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

2.2 ストレージ P.P.

2.2.1 HUS VM / VSP / VSP G1000,G1500,F1500 / VSP 5100,5500,5100H,5500H / VSP 5200,5600,5200H,5600H

【表記】 × :未サポート

番号	ストレージモデル	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1	HUS VM	×	×	×	×	×	×	×	必須	必須	必須
2		×	×	×	×	×	×	×	必須	必須	必須
3	VSP	×	×	×	×	×	×	×	必須	必須	必須
4		×	×	×	×	×	×	×	必須	必須	必須
5	VSP G1000	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須
6		必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須
7		任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	×	×	×
8		任意	任意	任意	任意	×	×	×	×	×	×
9		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
10	VSP G1500,F1500	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	×	×
11		必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	×	×
12		任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	×	×	×
13		任意	任意	任意	任意	×	×	×	×	×	×
14		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
15	VSP 5100,5500,5100H,5500H	必須	必須	×	必須	×	×	×	×	×	×
16		必須	必須	×	必須	×	×	×	×	×	×
17		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
18		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
19		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
20	VSP 5200,5600,5200H,5600H	必須	×	×	×	×	×	×	×	×	×
21		必須	×	×	×	×	×	×	×	×	×
22		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×
23		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×
24		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×

2.2.2 VSP G100,G200,G400,G600,G800,F400,F600,F800

番号	ストレージモデル	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1	VSP G100,G200,G400,G600	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須
2		必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須
3		任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	×	×	×
4		任意	任意	任意	任意	×	×	×	×	×	×
5		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
6	VSP G800	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須
7		必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須
8		任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	×	×	×
9		任意	任意	任意	任意	×	×	×	×	×	×
10		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
11	VSP F400, F600, F800	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	×
12		必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	×
13		任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	×	×	×
14		任意	任意	任意	任意	×	×	×	×	×	×
15		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×

2.2.3 HUS100 Family

番号	ストレージモデル	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1	HUS100 Family	×	×	×	×	×	×	×	×	×	必須
2		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3		×	×	×	×	×	×	×	×	×	任意
4		×	×	×	×	×	×	×	×	×	必須
5		×	×	×	×	×	×	×	×	×	必須
6		×	×	×	×	×	×	×	×	×	任意

2.2.4 VSP G130,G150,G350,G370,G700,G900,F350,F370,F700,F900,E390,E590,E790,E390H,E590H,E790H,E990,E1090,E1090H

番号	ストレージモデル	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1	VSP G130,G150,G350,G370,G700,G900	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	×	×	×
2		必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	×	×	×
3		任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	×	×	×
4		任意	任意	任意	任意	×	×	×	×	×	×
5		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
6	VSP F350,F370,F700,F900	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	×	×	×
7		必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	×	×	×
8		任意	任意	任意	任意	任意	任意	任意	×	×	×
9		任意	任意	任意	任意	×	×	×	×	×	×
10		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
11	VSP E990	必須	必須	×	必須	×	×	×	×	×	×
12		必須	必須	×	必須	×	×	×	×	×	×
13		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
14		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
15		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
16	VSP E590,E790	必須	必須	×	必須	×	×	×	×	×	×
17		必須	必須	×	必須	×	×	×	×	×	×
18		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
19		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
20		任意	任意	×	任意	×	×	×	×	×	×
21	VSP E390,E390H,E590H,E790H	必須	×	×	×	×	×	×	×	×	×
22		必須	×	×	×	×	×	×	×	×	×
23		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×
24		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×
25		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×
26	VSP E1090,E1090H	必須	×	×	×	×	×	×	×	×	×
27		必須	×	×	×	×	×	×	×	×	×
28		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×
29		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×
30		任意	×	×	×	×	×	×	×	×	×

3 関連ソフトウェア

3.1 プラットフォーム

3.1.1 オペレーティングシステム

【表記】○: サポート ×: 未サポート

番号	オペレーティングシステム	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1	Red Hat Enterprise Linux Server 6.4 (32 bit)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
2	Red Hat Enterprise Linux Server 6.4 (64 bit)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
3	Red Hat Enterprise Linux Server 7 (32 bit)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
4	Red Hat Enterprise Linux Server 7 (64 bit)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○
5	SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 (64 bit)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○
6	Red Hat Enterprise Linux Server 7.1 (64 bit)	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○
7	SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 (64 bit)	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x
8	Red Hat Enterprise Linux Server 7.3 (64 bit)	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x
9	Red Hat Enterprise Linux Server 7.4 (64 bit)	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x
10	Red Hat Enterprise Linux Server 7.5 (64 bit)	x	x	x	○	○	x	x	x	x	x
11	Red Hat Enterprise Linux Server 7.6 (64 bit)	x	x	○	x	x	x	x	x	x	x
12	Red Hat Enterprise Linux Server 8.2 (64 bit)	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x

3.1.2 OpenStack

#	OpenStack	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 5 (RHEL7)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
2	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 5 (RHEL6)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
3	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 6 (RHEL7)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○
4	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 7 (RHEL7)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○
5	SUSE OpenStack Cloud 5 (SLES11)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○
6	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 8 (RHEL7)	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x
7	SUSE OpenStack Cloud 6 (SLES12)	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x
8	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 9 (RHEL7)	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x
9	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 10 (RHEL7)	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x
10	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 12 (RHEL7)	x	x	x	x	x	○	x	x	x	x
11	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 13 (RHEL7)	x	x	x	○	○	x	x	x	x	x
12	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 14 (RHEL7)	x	x	○	x	x	x	x	x	x	x
13	Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 16.1 (RHEL8)	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x

3.2 前掲ストレージ管理ソフトウェア

【表記】×:未サポート

番号	ストレージ管理ソフトウェア	v09.0.1	v09.0.0	v07.0.0	v06.3.0	v06.1.0	v05.1.0	v03.2.1	v02.1.0	v01.5.3	v01.4.0
1	RAID Manager	HUS VM	x	x	x	x	x	x	01-39-03/XX以降	01-33-03/07以降	01-33-03/07以降*1
2		VSP	x	x	x	x	x	x	01-39-03/XX以降	01-33-03/07以降	01-33-03/07以降*1
3		VSP G1000	x	x	x	x	x	x	01-39-03/XX以降	01-33-03/07以降	01-33-03/07以降*1
4		VSP G100.G200.G400.G600	x	x	x	x	x	x	01-39-03/XX以降	01-33-03/07以降	01-33-03/07以降*1
5		VSP G800	x	x	x	x	x	x	01-39-03/XX以降	01-33-03/07以降	01-33-03/07以降*1
6		VSP F400.F600.F800	x	x	x	x	x	x	01-39-03/XX以降	01-33-03/07以降	x
7		VSP G1500.F1500	x	x	x	x	x	x	01-39-03/XX以降	x	x
8	Configuration Manager	VSP G1000	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	x	x	x
9	REST API	VSP G100.G200.G400.G600	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	x	x	x
10		VSP G800	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	x	x	x
11		VSP F400.F600.F800	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	x	x	x
12		VSP G1500.F1500	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	8.5.4-00以降	x	x	x
13		VSP G130.G130.G350.G370.G700.G900	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	x	x	x
14		VSP F350.F370.F700.F900	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	8.5.6-00以降	x	x	x
15		VSP E100.E500.E100H.E500H	10.0.0-00以降	10.0.0-00以降	x	10.0.0-00以降	x	x	x	x	x
16		VSP E990	10.1.0-00以降	10.1.0-00以降	x	10.1.0-00以降	x	x	x	x	x
17		VSP E590.E790	10.5.1-00以降	10.5.1-00以降	x	10.5.1-00以降	x	x	x	x	x
18		VSP E390.E390H	10.8.0-00以降	x	x	x	x	x	x	x	x
19		VSP E590H.E790H	10.8.0-00以降	x	x	x	x	x	x	x	x
20		VSP S200.S600.S200H.S600H	10.8.0-00以降	x	x	x	x	x	x	x	x
21		VSP E1090.E1090H	10.8.1-00以降	x	x	x	x	x	x	x	x
22	Hitachi Storage Navigator Modular 2 for CLI	HUS100 Family	x	x	x	x	x	x	x	x	28.00以降

*1 Out-of-BandはRed Hat Enterprise Linux OpenStack Platform 7のみ利用できます。